

6月の授業記録をお送りいたします。

## 夏期講習



観測史上初めてとなる6月の末に梅雨明けをしてからというもの、連日のように文字通りの猛暑が続いております。今日この頃——ご父母各位におかれましてはいかがお過ごしでしょうか。

さて、今月前半は多くの中学校で定期試験が実施されましたが、当塾で実施した「定期試験対策」では連日多くの生徒が来室し、各教室は独特の緊張感や熱気を帯びておりました。結果は努力の証。とはいえ、良い結果を出せた生徒もいる一方、残念ながら思うような結果が出なかった生徒もいるかもしれません。もしそうであるならば、結果が出なかった原因を突き止めて弱点をしっかりと見出し、それを克服するよう努め、来学期に向けて挽回を図っていく必要があります。

**7月25日（水）より8月31日（金）まで、正味28日間にわたって「夏期講習」が実施されます。**

とりわけ受験生にとっては、この夏はまさに「勝負の時」。甘えや誘惑を断ち切って一心に机に向かってもらえるよう、講師一同情熱と誠意を持って指導にあたっていきます。そしてその他の学年の生徒にとっては、この夏休みは学校の進度にとらわれずに、今までの総復習に力を入れて基礎学力を確かなものとする絶好の機会です。前述したように、もし定期試験の結果が振るわなかった人は、この機会をぜひ存分に活かしていきましょう。

当塾は、受講する生徒の皆さんを全力でサポートさせていただきます。ご父母各位におかれましては、お子様を時には叱咤しつつも、お子様の頑張りをなるべく温かく見守ってくださいますようお願いいたします。

### ■塾からのご案内■

#### ① 夏期講習のお申し込みは、7月21日（土）までに。

すでにご提出済みのご家庭もあるかと存じますが、夏期講習のお申し込みは、7月21日（土）までとなっております。スケジュール調整の都合上、なるべく期限を守ってご提出ください。ただし、部活動等の関係でどうしても遅れてしまう場合は、教室までご相談ください。なお、**夏期講習の受講費用は現金にてお納めください。納入期限は26日（木）となっております。**ご注意ください。なお、**8月分のお月謝はございません**ので、あわせてご注意ください。

#### ② 7月の授業記録は夏期講習の記録と一緒に、9月中旬に。

まもなく夏期講習に入り、生徒指導・教務に傾注いたします都合上、「7月の授業記録」は「夏期講習の授業記録」とあわせて、9月中旬ごろに各ご家庭にお送りいたします。またそれに伴い、8月の「個別指導会 NEWS」もお休みさせていただきます。何卒ご了承ください。

### 学習のアドバイス

今回のテーマは英語の「辞書の活用法」です。みなさんは、単語の意味を調べるときに、何を使っていますか。多くの方は、教科書の巻末資料の「単語と熟語」で調べているのではないのでしょうか。また、携帯電話やスマートフォンのアプリを活用している人もいるでしょう。確かに、意味を調べるだけならこれらの方法でもかまいませんが、英語力を高めるためには、辞書を使って調べることをお勧めします。「時間がもったいない」なんて思わないでください。それだけの効能はちゃんとあります。

1つ目の効能は「スペルを心に刻みつけ、単語を深く覚えることができる」ことで



す。単語のスペルを何度も頭の中で唱えながら、その文字の1つ1つを辞書のページに見つけるのですから、知らず知らずのうちに単語が心に刻み込まれます。

2つ目の効能は「1つのものを全体と関連づける力がつく」ことです。例えば You work hard. という文の意味が知りたいとき、you を調べると「あなたは、あなたたちは、あなたを、あなたたちを」と出てきます。work は「仕事」と「働く」の2つの意味。hard は「固い、難しい、熱心に」。これらの意味のどれを選ぶかは、ほかの単語との関連や内容を考えないと決まりません。それを考えることが英語力を高めるのにとっても大切なことです。

3つ目の効能は「意志の力が強くなる」ことです。辞書をひくのは面倒なことです。その大変さを乗り越えていくことが大事です。そこで忍耐力が鍛えられます。そして、ものごとを苦勞してやりぬく強い意志が育ってきます。この意志の力は英語に限らず何をしていくにも必要なものです。

最後に、どんな辞書を選べばいいのかについてですが、学生には電子辞書はあまりお勧めできません。電子辞書の利点は「すぐに調べられる」ことですが、これでは記憶に残りません。学生のうちは、紙の辞書を使ってください。中学生の場合は「活字が大きめで、訳語がわかりやすく、カナで発音が書いてあるもの」がよいでしょう。高校生の場合は「語源を含めた説明があり、語の中心的な意味がはっきりと書かれているもの」がよいと思います。参考にしてください。



### 平成30年度入試を振り返って ④

前回は県立高校入試の難易度について分析しましたが、いかがでしたでしょうか。今回は学校の成績、いわゆる内申点と県立高校入試の関係について掘り下げていきたいと思います。

埼玉県は内申点に入試の得点を加算して合否を判定しますので、内申点という貯金を入試本番までにできるだけ多く積み立てた方が有利です。ということは、中1から入試は始まっていると考えることもできるわけです。その傾向ですが、中1から中2にかけては、合格者の偏差値が60以上の学力上位校では、内申点の合計が横ばいかやや上昇しているのに対し、中堅校と下位校では横ばいか下降しています。ところが、中3の内申点の合計は、学力のレベルに関係なく中2のときと比べると2ポイントぐらいは上がっています。中3で内申点が上がるのは当たり前ということになりますから、ターニングポイントは中2です。中2で「中だるみ」をしなければ、ワンランク上の学校を狙うことが可能になります。

また、男女別に見ると、内申点は女子の方が高い傾向にありますので、どうしても志望校を絞れない場合は、より男子の比率が高い学校を選んだ方が合格の可能性は高まると言えます。

### 教室長日記

#### 緊張を克服するためには？



私がピアノを弾ける(HPにて公表済)ことを知っている生徒さんから、「どうすれば緊張せずに人前に出られるか」という質問をときどき受けますが、断言します。無理です！緊張せずに人前でピアノを弾くことなど、少なくとも私にはとてもできません!!

しかし、その緊張を克服することはできます。

緊張はほかならぬ「うまくできなかつたらどうしよう」という不安です。「うまくできなかつたことなどない」と信じている非常に幸せな人以外は、実際にうまくできなかつた記憶があるので、人前に出るたびにそれが不安としてよみがえるのです。つまり、緊張を克服するには、その不安を上回る要素があればよいのです。

正直、私も何度も人前で恥をかき、そのたびに緊張のせいにして「どうすれば緊張せずにピアノを弾けるか」と悩み続けていました。しかし、両手が震えるほどの緊張の中で、初めて人前で会心の演奏ができたと感じたとき、「緊張を克服するには練習を積み上げよ」という信念を持つことができたと同時に、うまくできたことが大きな自信となり、それからは緊張していても、あまり不安に思わなくなりました。

緊張を克服するには、普段練習を積むこと、場数を踏むこと、成功体験を得ることが有効ということになります。みなさんは、試験本番での不安に打ち勝つために、問題演習を重ね、小テストや模擬試験を受け、一度でもいいので納得できる結果をぜひ出してください。

(航空公園校 安達)